



神野義孝 議員
| 市民21 |

家族が安全にサイクリングできる環境の整備について

昨今の厳しい交通環境により、自転車に乗る場所が極めて制約され、乗り入れが禁止されている公園等もある。また、子どもの自転車事故も多く、安全に自転車に乗るために正しいマナーを身に付けることが必要である。

問 公園の自転車乗り入れの現状及び見解は。

答 公園での子どもの自転車の練習は、乗り入れ禁止箇所以外での利用となり、練習するための場所が不足していると認識している。今後は、大規模公園の一部に自転車の乗り入れ可能なエリアを設置したり、宅地開発で生み出された公園利用など、子どもたちが安心して自転車を楽しめる環境づくりを検討する。

問 都市計画道路等における自転車走行の安全対策は。

答 都市計画道路新橋深沢線は、自転車歩行者道として車道と分離して整備中。歩行者通行帯2mと自転車通行帯1.5mを色分けして、歩行者、自転車双方が安全に通行できる。平成32年度完成予定の団地間連絡道路は、裾野市境から富士山樹空の森を経由し、小山町境まで全線自転車歩行者道が整備され、安全にサイクリングができる。これから事業実施される幹線道路も、同様に整備を進める。

問 子どもの自転車安全教育の現状は。

答 小学4年生を対象に自転車教室、中学生・高校生にに対する街頭指導が行われている。

問 昨年の道路交通法改正等による車からの追突防止対策は。

答 自発光式反射材の自転車への装着を呼びかけている。



特色ある自転車安全教室

反対・賛成討論

平成26年度御殿場市一般会計予算について

反対 無党派(日本共産党) 高木理文

反対理由の第1は市長の政治姿勢である。消費税率引上げ、年金や生活扶助基準の引下げ等の影響に対する生活弱者への配慮は感じられない。第2は生活扶助基準引き下げと生活保護法の改悪である。第3は御殿場型NPM中心の施策方針である。自治体の安上がり化は公務の質にも影響する。第4は社会保障・税番号制度への対応である。制度導入の必要性はない。

賛成 創成 本多丞次

安倍内閣が推進する経済政策による景気回復の実感はまだ地域経済には十分浸透していない。その様な中、当市は市税以外の収入が減収傾向にある厳しい財政ではあるが、安全安心な市民生活の確保、地域活力の創出の事業を推進することを最重要課題であると考え、御殿場型NPM、市民サービス向上と行政経営を積極的に取り組み編成したものと評価でき、賛成する。

平成26年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について

反対 無党派(日本共産党) 高木理文

反対理由の第1は国保税の負担と制度の改悪が暮らしを圧迫することだ。4月以降70歳になる人から患者負担が2割に引き上げられる。第2は国保の財政改善のための実効ある施策である。市長政策分の法定外繰入金を増額を求める。40代、50代の若年層への特定健診受診率向上対策を求める。第3は資格証明書の発行である。収納率向上には繋がらない。やめるべきである。

賛成 創成 高橋利典

国民健康保険は、誰もが安心して医療を受けることができる制度として、半世紀にわたり提供された。しかし、少子高齢化等社会情勢が大きく変化し、国保制度においても、所得が低い加入者を多く抱え、脆弱な財政基盤の上に後期高齢者支援金等、医療費以外の支出が増加し、国保の特殊性に配慮し、一般会計から市長政策分の繰り入れ等財政運営に努めているので、賛成する。